



横浜市新市庁舎
完成記念
3館連携展示

令和元年度
第4回企画展示

町会 役所 から

古地図と
古写真に見る
横浜の歩み



2020年
2月1日(土)～
4月19日(日)

横浜開港資料館

Yokohama Archives of History

開館時間 / 9:30～17:00(入館は開館30分前まで) ※2月28日(金)、3月14日(土)は展示室のみ19:00まで開館
休館日 / 月曜日(2月24日は開館) および2月25日(火)
入館料 / 一般200円、小・中学生100円

〒231-0021 横浜市中区日本大通3 Tel.045-201-2100
東急東横線・みなとみらい線「日本大通り」駅(3番出口)より徒歩2分
<http://www.kaikou.city.yokohama.jp/>

主催：(公財)横浜ふるさと歴史財団 共催：横浜市教育委員会 協賛：横浜市総務局

後援：朝日新聞横浜総局、神奈川新聞社、産経新聞横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞横浜支局、毎日新聞横浜支局、読売新聞横浜支局、NHK横浜放送局、tvk、FMヨコハマ

町会所から 市役所へ

古地図と
古写真に見る
横浜の歩み

展示構成

- 1 横浜開港と町会所の設置
- 2 横浜会館の建設
- 3 市制の施行と横浜市の街並み
- 4 港湾都市建設と横浜市
- 5 関東大震災と倒壊する市庁舎
- 6 横浜大空襲と復興する横浜
- 7 幕末～明治初年の洲千島

連携展示情報

- ◆ 横浜都市発展記念館
近代横浜を掘る
- 洲千島からひろがる都市のすがた -
2020年
1月18日(土)～4月12日(日)
- ◆ 横浜市歴史博物館
明治・大正 ハマの街
- 新市庁舎建設地・洲千島遺跡 -
2020年
4月1日(水)～7月5日(日)

令和2(2020)年に中区本町に新市庁舎がオープンしますが、これを記念して開港直後に町の行政機関として設置された町会所の歴史や明治22(1889)年の横浜市発足から現在に至る市庁舎の姿や市街地の様子を古地図・古写真・古記録で紹介します。横浜の市街地は、安政5(1858)年に西洋諸国と結んだ通商条約にもとづき建設されましたが、この時、町会所が市街地中心部に設置されました。明治7(1874)年には現在、横浜市開港記念会館が建っている場所に町会所の建物が新築され、この建物が行政を担うことになりました。横浜市発足以後は、町会所の機能が市役所に引き継がれ、市役所が行政の拠点になっていきます。展示ではこうした歴史を振り返ります。



01 神奈川横浜二十八景之内「洲千舟天社」丘響亭貞秀画 万延元(1860)年 当館蔵

02 開化名勝園之内「横浜本町時計台」(町会所) 梅寿四利画 明治8(1875)年頃 当館蔵

03 電雲色の本町通り(右端手前の建物が初代横浜市役所) 明治時代中期 当館蔵 04 関東大震災で被害を受けた旧代目市役所庁舎 当館蔵



アクセス

- 東急東横線・みなとみらい線「日本大通り」駅
(3番出口)より徒歩2分
- JR「関内」駅南口・市営地下鉄「関内」駅下車
徒歩15分
- JR「桜木町」駅から市営バス「日本大通り」駅
乗車前「大横橋」下車徒歩1分

横浜開港資料館(旧英国総領事館)

Yokohama Archives of History
〒231-0021 横浜市中区日本大通3
Tel.045-201-2100

次回展示予告

「幕末・明治の横浜に暮らした
外国人たち」(仮称)

2020年
4月25日(土)～7月12日(日)